

かけはし

第58号

令和8年度予算特集



「知事との森林トーク」で一見知事に提言・要望書を提出（左上）、先進地視察研修会【徳島県】（右上）
みえ森林経営管理支援センターによる研修会【度会町】（左下）、森林セミナー【津市】（右下）

目次

○ご挨拶	2
○令和8年度三重県予算及び森林・林業・木材産業関係予算の概要	3
○令和8年度林野庁予算（林野公共事業）の概要	8
○令和8年度森林・林業関係予算等に関する提案・要望活動	10
○三重県森林協会の主な活動報告（令和7年4月～令和8年3月）	12
○みえ森林経営管理支援センター活動報告	13
○令和6年度森林環境譲与税使途区分別・市町別の活用額一覧	14
○受賞者の紹介	15
○当面の森林協会活動予定	16
○お知らせ	16

豊かで災害に強い森林づくりを推進しよう！

一般社団法人 三重県森林協会

ご 挨拶

一般社団法人三重県森林協会

会 長 河 上 敢 二

会員の皆様方におかれては、平素から当協会の運営に格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。当協会の会報「かけはし」第58号の発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

近年、地球温暖化の影響による気候変動が進み、全国各地で線状降水帯や台風による山地災害のほか大規模な山林火災が相次ぐなど、甚大な被害が発生しています。被災地域の日も早い復興を願うとともに、紀伊半島に住む我々も今後発生が予想される南海トラフ大地震や台風等による自然災害に対して不断の備えをしなければなりません。

令和6年度から森林環境税の徴収が始まり、森林環境譲与税の市町村、都道府県への譲与は8年目となりました。令和8年度の国全体の譲与額は昨年度より23億円減となる666億円が見込まれ、本県の市町全体には14.8億円、県には1.6億円が譲与される見込みです。昨年5月に森林経営管理法が改正され、本年4月から森林の集積・集約化を進めるための新たな仕組みがスタートすることとなり、譲与税を用いた市町村が主体となる森林整備等への期待がますます強くなっています。当協会としても県から受託したみえ森林経営管理支援センター業務を中心に、森林経営管理制度はもとより森林環境譲与税を用いた各市町の施策が円滑に進むようサポートしてまいります。

国においては、防災・減災、国土強靱化を含む令和7年度補正予算を加えると、林野公共予算額は、全国団体と連携した要望活動もあり、目標額（2,700億円）を大きく上回る、対前年比79億円増の2,814億円が確保されました。

県においても、令和8年度当初予算の森林整備事業費が5.3億円（対前年比104%）と昨年に続き増加しました。三重県では、近年大きな山地災害は発生していませんが、山地災害危険箇所は数多くあり治山事業による山地災害の未然防止、森林吸収源の機能強化及び花粉症発生源対策等としての造林事業による森林整備、森林の循環利用の基盤となる林道等路網整備が着実に進むことが期待されます。

今年度も、国に対しては中央団体、県に対しては県内関係団体と連携して提案・要望活動を行うなど、本県の森林整備、治山・林道事業の推進、林業・木材産業の活性化に向けた取組を進めますので、引き続きご高配を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

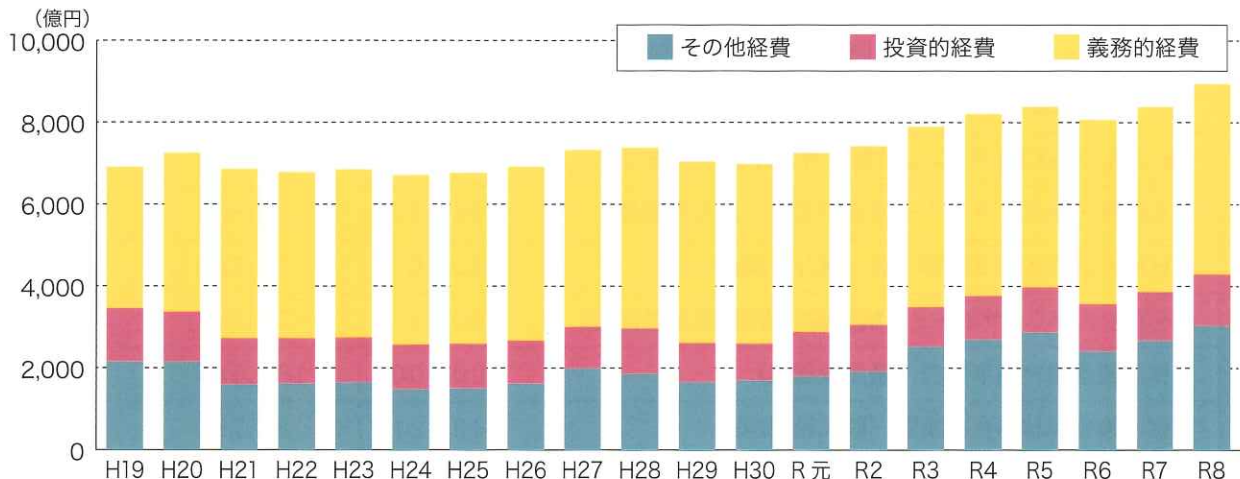
令和8年度三重県予算及び森林・林業・木材産業関係予算の概要

●令和8年度一般会計当初予算総額は8,929億円で過去最大（対前年度比563億円、6.7%の増）

当初予算のポイントとしては、「三重県誕生150周年」を迎えるとともに、「みえ元気プラン」の最終年度として、三重県がさらに発展していくため「子ども」「南海トラフ地震対策」などを特に重点化しています。

- ・「三重県誕生150周年」という佳節を刻むにあたり、これまでの歴史を振り返るとともに、三重の歴史を未来につないでいくための機会として、記念式典等を実施〔予算額：3億円（前年度比205%増）〕
- ・「みえ子ども・子育て応援総合補助金」の両立支援強化など子どもの健やかな成長を支える環境づくりを推進〔予算額：97億円（前年度比9%増）〕
- ・スフィア基準をふまえた避難所の環境改善支援、「三重県南海トラフ地震対策推進条例（仮称）」の制定の着手、「三重県広域受援計画」の改定など南海トラフ地震対策のさらなる強化〔予算額：620億円（前年度比2%増）〕
- ・これらの取組に加え、「みえ地域日本語教育支援センター（仮称）」の新設をはじめとした多文化共生の推進、インバウンド受入環境整備の支援やプロモーションの強化をはじめとした観光振興、ペロプスカイト太陽電池の実証支援や洋上風力発電に係る取組をはじめとした成長産業育成・再生可能エネルギー導入促進など、県民の皆さんの命と尊厳を守り、未来を拓く取組を促進

三重県一般会計当初予算の推移



森林・林業・木材産業関係予算（一般会計）は3.3%減の90.8億円

令和8年度三重県の森林・林業・木材産業関係当初予算は、一般会計で90億7,864万円（特別会計を除く）と対前年度比96.7%の減額予算となりました。

この予算で、森林資源の循環利用を通じて林業を活性化していくため、主伐後の再造林などの森林整備への支援、スマート林業の現場実装の加速化、J-クレジットの創出促進、多様な林業人材の確保・育成に取り組むとともに、「三重の森づくり運動」の展開や自然・森林を体験できる機会の創出を通じて、みんなで支える森林づくりを進めます。

また、防災・減災対策の強化として、山地災害の防止を図る治山施設を整備するとともに公益的機能が低下した保安林の整備を進めます。さらに、流木となる恐れのある溪流沿いの樹木の伐採・搬出や、溪流内に堆積した土砂や流木の除去に取り組めます。

令和8年度 森林・林業・木材産業関係当初予算 9,078,636千円（※特別会計を除く）

- 森林・林業経営課 ……1,555,078千円（森林計画、林業・木材産業振興、造林・間伐、森林経営管理体制支援、森林教育、みえ森林・林業アカデミー、林業試験研究等）
- 治山林道課 ……5,617,909千円（治山、林道、災害に強い森林づくり、林地開発等）
- みどり共生推進課 ……1,905,649千円（みえ森と緑の県民税、自然公園、野生生物保護等）

令和8年度 三重県森林・林業・木材産業関係予算一覧

(単位：千円、%)

区分	事業名	令和7年度 当初予算A	令和8年度 当初予算B	対前年度比 B/A
森林・ 林業 経営 課	「もっと県産材を使おう」推進事業費（譲与税関連）	63,963	53,165	83.1%
	林業・木材産業振興事業費（譲与税を含む）	406,307	194,304	47.8%
	普及指導活動事業費	6,211	6,173	99.4%
	地域森林計画編成事業費	5,108	5,202	101.8%
	森林整備加速化・林業再生基金事業費	108,000	12,194	11.3%
	森林整備加速化・林業再生基金積立金	100,000	3,430	3.4%
	林業資金貸付事業特別会計繰出金	543	475	87.5%
	森林育成促進資金貸付金事業費	95,134	95,107	100.0%
	林業担い手総合対策事業費（譲与税関連）	10,293	12,307	119.6%
	林業の多様な労働力確保対策事業費（譲与税を含む）	3,425	3,200	93.4%
	森林環境譲与税基金積立金（譲与税関連）	170,460	164,974	96.8%
	みえスマート林業躍進事業費	5,500	4,181	76.0%
	カーボンニュートラルの実現に向けた林業GX推進事業費	21,779	—	皆減
	(新) 森林由来J-クレジット創出促進事業費	—	14,161	皆増
	(新) みえの「森業」チャレンジ促進事業費（譲与税を含む）	—	5,320	皆増
	みえ森林・林業アカデミー運営事業費（譲与税関連）	46,427	43,864	94.5%
	森林経営管理体制支援事業費（譲与税関連）	55,607	57,588	103.6%
	森を育む人づくりサポート体制整備事業費（県民税関連）	60,615	59,281	97.8%
	森林情報基盤整備事業費（県民税関連）	100,000	101,645	101.6%
	災害に強い森林再生事業費（県民税関連）	48,821	82,750	169.5%
	林業試験研究管理費	44,858	54,961	122.5%
	林業技術開発事業費	3,855	1,134	29.4%
	(公共) 造林事業費	511,224	533,224	104.3%
(県単公共) 県単森林環境創造事業費	28,132	23,172	82.4%	
(県単公共) 県単造林事業費	19,735	23,266	117.9%	
	小計	1,915,997	1,555,078	81.2%
治山 林道 課	県行造林事業費	54,601	58,245	106.7%
	保安林整備管理事業費	11,007	14,532	132.0%
	森林保全管理事業費	1,013	1,069	105.5%
	森林病虫害防除費	335	352	105.1%
	盛土規制法事業費	19,664	18,248	92.8%
	(公共) 林道事業費	802,450	784,855	97.8%
	(公共) 治山事業費	1,531,565	1,531,565	100.0%
	(県単公共) 県単林道事業費	45,729	55,824	122.1%

区分	事業名	令和7年度 当初予算A	令和8年度 当初予算B	対前年度比 B/A
治山林道課	(県単公共) 県単治山事業費	2,012,630	2,048,630	101.8%
	(公共) 林道施設災害復旧事業費	680,850	680,850	100.0%
	(公共) 治山施設災害復旧事業費	102,746	102,746	100.0%
	災害に強い森林づくり推進事業費(県民税関連)	368,162	320,993	87.2%
	小計	5,630,752	5,617,909	99.8%
みどり共生推進課	野生生物保護事業費(県民税を含む)	37,148	26,634	71.7%
	自然公園利用促進事業費(県民税を含む)	48,056	97,157	202.2%
	みんなで取り組む三重の森づくり推進事業費(県民税関連)	10,163	10,813	106.4%
	森林公園利用促進事業費	53,340	78,487	147.1%
	みえ森と緑の県民税基金積立金(県民税関連)	1,126,043	1,145,013	101.7%
	みえ森と緑の県民税市町交付金事業費(県民税関連)	483,658	478,363	98.9%
	みえ森と緑の県民税制度運営事業費(県民税関連)	14,520	13,286	91.5%
	自然に親しむ施設整備事業費	22,205	19,810	89.2%
	伊勢志摩国立公園80周年記念事業費	36,023	35,200	97.7%
	ツキノワグマ出没防止対策事業費	9,731	886	9.1%
	小計	1,840,887	1,905,649	103.5%
	計(一般会計)	9,387,636	9,078,636	96.7%
特会	木材産業等高度化推進資金貸付事業費 など	547,546	526,136	96.1%
	合計	9,935,182	9,604,772	96.7%

(注) 特会：特別会計予算、県民税関連：主にみえ森と緑の県民税を活用、県民税を含む：財源の一部にみえ森と緑の県民税を含む、譲与税関連：主に森林環境譲与税を活用、譲与税を含む：財源の一部に森林環境譲与税を含む

新規事業等紹介(事業概要・事業費は新規分のみ)

- 1 (新) みえの「森業」チャレンジ促進事業** **5,320千円【森林・林業経営課】**
「森業」を推進するため、森林空間を活用した新規の事業構築に向けた気運の醸成や、スタートアップ等への支援に取り組むとともに、森林の価値向上に挑戦する人材の発掘・育成に取り組みます。
- 2 (新) 森林由来J-クレジット創出促進事業** **14,161千円【森林・林業経営課】**
県内における森林由来J-クレジットの創出を加速させるため、森林情報基盤の整備や、効率的にクレジットを創出するための林業DXツールの試行導入、クレジット創出にかかる専門家による相談対応等、森林由来J-クレジット創出プロセスの各段階における支援を実施するとともに、推進条例の制定に向け検討を進め、クレジットの創出促進を図ります。
- 3 (一部新) 森林情報基盤整備事業** **1,645千円【森林・林業経営課】**
効率的な森林管理・生産管理の実現を図るため、森林資源調査、生産計画・管理、路網設計・施工の効率化・省力化に資するICT活用ソフト等の導入支援を行います。
- 4 (一部新) 林業・木材産業振興事業** **7,685千円(2月補正含み)【森林・林業経営課】**
花粉の少ない森林への転換を促進するため、伐採、植替えについての森林所有者への働きかけや伐採について支援します。

森林資源の循環利用を通じた林業の活性化

森林資源の循環利用を通じて林業を活性化していくため、主伐後の再造林などの森林整備への支援、スマート林業の現場実装の加速化、J-クレジットの創出促進、多様な林業人材の確保・育成に取り組むとともに、「三重の森づくり運動」の展開や自然・森林を体験できる機会の創出を通じて、みんなを支える森林づくりを進めます。

森林・林業経営課 TEL059-224-2564
 治山林道課 TEL059-224-2573
 みどり共生推進課 TEL059-224-2513

森林の適正な管理と公益的な機能の発揮

森林経営管理体制支援事業 (57,588千円)

森林整備の促進に向けて、市町の業務推進への支援や、花粉の少ないスギ・ヒノキの種子の生産体制強化等に取り組めます。



造林事業 (604,490千円) ※補正含み
 森林の有する多面的機能の維持・増進を図るため、搬出間伐や主伐後の再造林などの森林整備、獣害防止施設、森林作業道の整備等を支援します。

(新)森林由来J-クレジット創出促進事業 (14,161千円)

森林由来J-クレジットの創出促進に向け、林業DXツールの試行導入や専門家による相談対応等に取り組むとともに、推進条例の制定を検討します。



災害に強い森林づくり推進事業 (320,993千円)

災害に強い森林再生事業 (82,750千円)

流木となるおそれのある渓流沿いの樹木の伐採・搬出に取り組みとともに、シカの食害や気象害を受けた森林の早期回復に向けた植栽などを支援します。

林業の生産性の向上と県産材の利用の促進

林道事業 (897,359千円) ※補正含み

木材の生産や搬出に必要な林道および災害時に市町道等の代替路となる林道を開設するとともに、既設林道の改良に取り組めます。



基幹となる林道の開設

みえスマート林業躍進事業 (4,181千円)

スマート林業の現場実装を加速化するため、先導的な役割を果たす技能者の育成と連携強化を図るとともに、スマート技術の横展開に取り組めます。



スマート技術の活用による生産性・安全性の向上

「もつと県産材を使おう」推進事業 (53,165千円)

PR効果の高い木造非住宅建築物における「三重の木」等県産材の木材調達を支援するなど、県産材の利用拡大に取り組めます。



非住宅建築物の木造・木質化

多様な林業人材の確保と育成

林業担い手総合対策事業 (12,307千円)

新規就業者の確保に向けて、首都圏等での就業相談会や、就業希望者と林業者のマッチング支援、労働安全の指導員養成支援等に取り組めます。

林業の多様な労働力確保対策事業 (3,200千円)

多様な労働力を確保するため、外国人材の活用や異業種との連携促進に向けたセミナーの開催、資機材の支援による受入体制の整備等に取り組めます。

(新)みえの「森業」チャレンジ促進事業 (5,320千円)

森林空間を活用した新規事業の構築に向けた気運醸成に取り組むとともに、森林の価値向上に挑戦する人材の発掘・育成に取り組めます。



森林の価値向上に挑戦する人材の発掘・育成

みえ森林・林業アカデミー運営事業 (43,864千円)

次代を担う林業人材を育成するため、既就業者対象の基本コース、市町職員向け講座のほか、専門的、実践的な知識や技術を学べる選択講座を運営します。



みえ森林・林業アカデミーでの講義

みんなで支える森林づくりの推進

みえ森と緑の県民税市町交付金事業 (478,363千円)

「みえ森と緑の県民税」を活用し、市町が創意工夫した森林づくりの施策を展開するとともに、県と市町が連携して、流域の防災機能を強化する面的な森林整備や、ライフライン沿いの危険木の事前伐採に取り組めます。



学校等における森林教育

みんなで取組む三重の森づくり推進事業 (10,813千円)

森林フェスタの開催や企業と森林のマッチングに取り組むとともに、「三重の森づくりネットワーク」を中心とした、さまざまな主体による三重の森づくり運動を展開します。



ネットワーク交流会

伊勢志摩国立公園80周年記念事業 (35,200千円)

公園の持つ美しい自然景観等を生かしたツアーのブラッシュアップやイベント開催、施設整備に取り組み、国立公園指定80周年を祝います。



英虞湾の景色

●令和8年度 三重県森林・林業関係公共事業当初予算（12月補正含む、災害復旧費は除く）は、対前年度比0.6%増の52.6億円

森林・林業関係公共事業の令和8年度当初予算（災害復旧費は除く）は50億54万円で対前年度比101.0%となりました。令和7年度12月補正予算を合わせた比較では対前年度比100.6%の52億5,822万円となっています。

令和8年度当初予算では、治山事業は国補事業が15億3,157万円で前年度と同額、県単治山事業は20億4,863万円で対前年度比101.8%、林道事業は国補事業が7億8,486万円で対前年度比97.8%、県単事業が5,582万円で対前年度比122.1%、造林事業は国補事業が5億3,322万円で対前年度比104.3%、県単事業が4,644万円で対前年度比97.0%となっています。一昨年度に三重県林業団体連絡協議会から強く要望した国補造林事業は昨年に続き増額となりました。

また令和7年度12月補正予算においては、国補治山事業で1億5,300万円、国補林道事業で5,668万円、国補造林事業で4,800万円が措置されています。

令和8年度 森林・林業関係公共事業、施設災害復旧費予算一覧

(単位：千円、%)

区 分		令和7年度		令和8年度		当初対比 C/A	補正含対比 D/B
		当初予算 A	令和6年度12月 補正予算含む B	当初予算 C	令和7年度12月 補正予算含む D		
治山	治山事業費	1,531,565	1,696,565	1,531,565	1,684,565	100.0%	99.3%
	県単治山事業費	2,012,630	2,012,630	2,048,630	2,048,630	101.8%	101.8%
	治山計	3,544,195	3,709,195	3,580,195	3,733,195	101.0%	100.6%
林道	林道事業費	802,450	858,450	784,855	841,535	97.8%	98.0%
	県単林道事業費	45,729	45,729	55,824	55,824	122.1%	122.1%
	林道計	848,179	904,179	840,679	897,359	99.1%	99.2%
森林整備	造林事業費等（国補）	511,224	565,224	533,224	581,224	104.3%	102.8%
	県単造林事業費等	47,867	47,867	46,438	46,438	97.0%	97.0%
	森林整備計	559,091	613,091	579,662	627,662	103.7%	102.4%
公共事業計		4,951,465	5,226,465	5,000,536	5,258,216	101.0%	100.6%
治山	県営受託治山事業費	-	-	-	-	-	-
受託公共事業計		-	-	-	-	-	-
治山	治山施設災害復旧事業費	102,746	102,746	102,746	102,746	100.0%	100.0%
林道	林道施設災害復旧事業費	680,850	680,850	680,850	680,850	100.0%	100.0%
災害復旧事業費計		783,596	783,596	783,596	783,596	100.0%	100.0%
公共事業合計		5,735,061	6,010,061	5,784,132	6,041,812	100.9%	100.5%

令和8年度 林野庁予算（林野公共事業）の概要

●令和8年度国家予算の方針

令和8年度予算では、令和7年度補正予算での対応に続き、切れ目無く「強い経済」を実現する予算として、「防衛力整備計画」に基づく対応や「こども・子育て支援加速化プラン」の推進、「GX経済移行債」による投資の促進、「AI・半導体産業基盤強化フレーム」に基づく支援など複数年の取組、歳出構造の平時化に向けた取組を推進するとともに、教育無償化や外国人施策、農業構造転換集中対策、重要物資等確保対策、国立大学法人運営費交付金、科学研究費など重要施策について予算を重点的に配分しています。あわせて、「経済財政運営と改革の基本方針2025（骨太の方針2025）」及び「経済・財政新生計画」に基づき、歳出・歳入両面から改革を推進することとしています。

一般歳出は約70兆16百億円であり、これに地方交付税交付金等約20兆88百億円及び国債費約31兆28百億円を加えた一般会計総額は約122兆31百億円と過去最大を更新し、前年度当初予算に対し約7兆11百億円の増額となっています。

一方、歳入については、租税等の収入は83兆74百億円、その他収入は約8兆99百億円を見込んでいます。また、公債金は約29兆58百億円であり、前年度当初予算に対し約7兆11百億円の増額となっています。

●林野庁予算の内容

令和8年度の林野庁予算の総額は、令和7年度補正予算の「国土強靱化の5か年加速化対策」等を加えると4,531億円（対前年比：101.0%）となりました。当初予算ベースでは、3,112億円で前年に比べ44億円の増、補正予算額は1,419億円で前年に比べ3億円の増となりました。

また、公共事業費は、補正予算を加えると3,147億円（対前年比99.8%）、非公共事業は1,384億円（対前年比104.0%）となりました。

当初予算では、2050年ネット・ゼロ等に貢献する「森の国・木の街」の実現に向けた「森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策」を重点事項とし、補正予算においては林業・木材産業国際競争力強化総合対策や花粉症対策、防災・減災、国土強靱化と災害復旧等を推進します。

令和4年度～令和8年度 林野関係予算の推移

（単位：億円）

	R4 予算	R5 予算	R6 予算	R7 予算	R8 予算	R8/R7
公共事業計	2,991	2,914	3,059	3,153	3,147	99.8%
一般公共	2,636	2,570	2,622	2,697	2,762	102.4%
治山	926	879	892	935	968	103.5%
森林整備	1,709	1,691	1,731	1,762	1,794	101.8%
災害復旧	356	344	437	456	386	84.6%
非公共事業計	1,236	1,304	1,344	1,331	1,384	104.0%
林野庁合計	4,227	4,218	4,403	4,484	4,531	101.0%

- 注) 1 予算額は当該年度の当初予算と前年度補正予算の合計額を記載
 2 路網整備等対策（非公共）52億円を含めると林野公共関係予算は2,814億円
 3 上記のほか農山漁村地域整備交付金に林野関係事業が措置
 4 計数は、四捨五入のため合計と一致しない場合があります

令和8年度 林野関係予算の重点事項（公共事業以外）

○ 2050年ネット・ゼロ等に貢献する「森の国・木の街」の実現に向けた森林資源循環利用施策の総合的な展開

① 森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策 【当初：154億円】

2050年ネット・ゼロ等に貢献する「森の国・木の街」を実現するとともに、花粉発生量の削減にも資するよう、川上から川下までの森林・林業・木材産業政策を総合的に推進

ア 森林集約・循環成長対策 【当初：80億円、補正：124億円】

森林資源の循環利用に取り組む経営体への森林の集積・集約化を進めるため、関係者による地域の森林の将来像の作成・共有、境界確定、デジタル森林情報の共有等を支援

イ 木材等の付加価値向上・需要拡大対策 【当初：15億円、補正：33億円】

ウ 森林・林業担い手育成総合対策 【当初：46億円、補正21億円】

エ スマート林業・DX推進総合対策 【当初：3億円、補正7億円】

オ 森林・山村地域活性化振興対策 【当初：10億円】

※【補正】は②林業・木材産業国際競争力強化総合対策の内数

② 林業・木材産業国際競争力強化総合対策＜一部公共＞ 【補正：450億円】

林業・木材産業の体質強化や国内需要の拡大に向けて、原木・木材製品等の生産体制の強化、森林の集積・集約化、スマート林業技術等の開発・実証と活用、非住宅分野等における木材製品の消費拡大、日本産木材製品等の輸出拡大、林業の担い手の育成・確保等を支援

③ 花粉症解決に向けた緊急総合対策＜一部公共＞ 【補正：56億円】

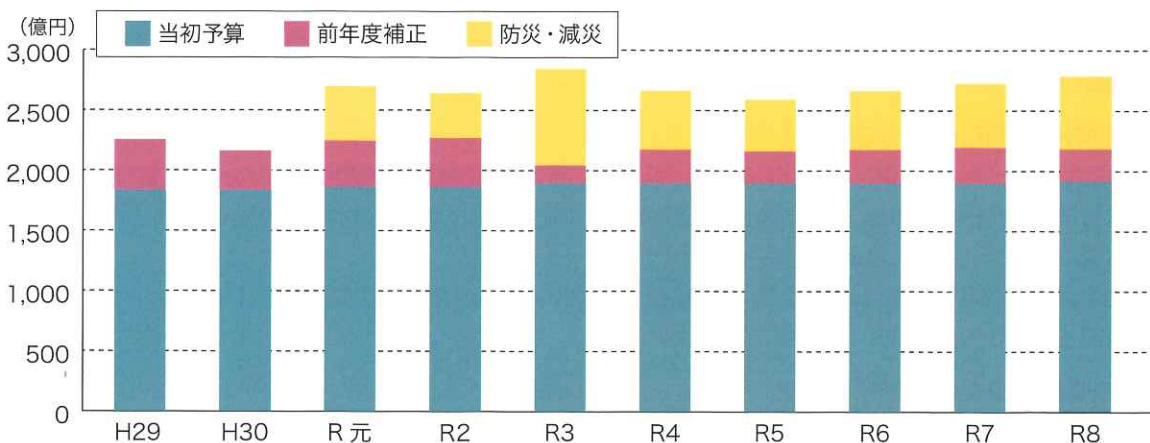
スギ人工林の伐採・植替え等の加速化、スギ材需要の拡大、花粉の少ない苗木の生産拡大、林業の生産性向上及び労働力の確保、花粉飛散量の予測・飛散防止、スギ花粉米の実用化に向けた安全性・有効性の検証の取組を推進。

● 林野公共事業予算

林野一般公共事業予算（治山事業費、森林整備事業費）については、当初予算の経常分が1,899億円（治山628億円、森林整備1,271億円、対前年比101.0%）、令和7年度補正予算が防災・減災、国土強靱化に係る加速化対策を含め863億円（治山340億円、森林整備523億円）が計上されました。その結果、当初及び補正予算を合わせた一般公共事業費は2,762億円（対前年比102.4%）となりました。

これに路網の整備・機能強化対策（非公共）52億円を加えると2,814億円となり、林野庁が目標としていた2,700億円はもとより2,800億円を超える規模となりました。

林野公共事業（森林整備事業・治山事業）の予算推移



令和8年度 森林・林業関係予算等に関する提案・要望活動

●「令和8年度県予算編成等に向けた森林・林業政策提案・要望書」の提出

令和8年度の県予算編成に向けて、森林・林業政策の提案・要望事項を会員である各市町から提出していただき、提案・要望事項について議論を深めるため、令和7年8月29日に県の担当班長と市町の担当者による意見交換会を開催しました。

令和7年10月1日には、意見交換会の議論を踏まえた「令和8年度県予算編成等に向けた森林・林業政策提案・要望書」を河上会長と尾上副会長から三重県農林水産部柘屋部長へ提出し、提案・要望活動を行いました。



河上会長から柘屋部長へ要望書を手交



市町職員と県職員の意見交換会

主な提案・要望事項

1 「三重の森林づくり基本計画」の着実な実施について

県においては、森林・林業を取り巻く社会情勢の変化を踏まえ「三重の森林づくり基本計画2025」を策定されましたが、計画に示された具体的な施策が着実に実行されるよう予算の確保、執行体制の拡充をお願いします。

2 森林整備及び路網整備に関すること

- (1) 国や県においてはスギ花粉の発生源対策や森林資源の循環利用を進めるため「主伐－再造林」を促進していますが、従来までの間伐に加え、再造林を着実に進めるには造林事業予算の拡充が必要不可欠となりますので、十分な国及び県予算の確保をお願いします。
- (2) 間伐等の森林整備や木材生産を推進するためには、林道等路網の役割が非常に重要となりますので、林道事業予算を確保し計画的な整備推進をお願いします。

3 治山事業に関すること

全国的に線状降水帯や台風による豪雨災害など、自然災害が頻繁に発生しており、地域住民の安全・安心の確保と災害に強い森林づくりを進めるため、未着手の山地災害危険地区等における治山事業の推進をお願いします。

4 木材利用の推進に関すること

- (1) 「三重の木づかい条例」に基づき、公共及び民間の建築物や建築物以外の分野における木材利用、木材の付加価値を高める研究等、「三重の木」をはじめとする木材利用の推進を図るため、必要な施策の着実な実施をお願いします。
- (2) 県産材の需要開拓のため、市町とも連携し、県外大都市部の木材需要をターゲットとした施策の展開をお願いします。

5 人材の育成・確保等に関すること

- (1) みえ森林・林業アカデミーの市町職員講座について、市町において新たに森林・林業分野の担当

となった職員等が早期に業務を理解し実務に取り組むことができるよう、実施時期の検討やリモートでの参加も可能とするなど、受講者にとって学びやすい講座となるようお願いします。

(2) 間伐をはじめとする森林整備や主伐による素材生産の現場を担う人材が不足しているため、県内外からの多様な人材の確保や育成に向けた取組をお願いします。

6 森林環境譲与税、森林経営管理法に関すること

森林経営管理制度や森林環境譲与税を活用した事業を適切に執行するため、市町の果たす役割が益々重要となっていますが、市町の森林・林業行政の体制は、担当人員が少なく、かつ専門的な知識を持つ人材を確保することが難しい状況です。ついては、三重県が市町の取組を支援するため、当協会に委託し、設置している「みえ森林経営管理支援センター」による人的かつ技術的な支援を継続、拡充するようお願いします。

7 ツキノワグマ対策に関すること

紀伊半島のツキノワグマは、環境省のレッドリストで「絶滅のおそれのある地域個体群」、三重県自然環境保全条例では「三重県指定希少野生動植物種」に指定されているものの、近年その目撃事例は急激に増加しており、人身被害も発生しています。2024年に実施された調査では生息数が468頭まで回復していることが報告されており、山間部の住人や森林作業員等に対する人身被害を防止するため、調査結果を踏まえた実効性のある対策を講じるようお願いします。

●「知事との森林トーク」で提言・要望

令和8年1月16日に、アスト津において三重県林業団体連絡協議会主催の「知事との森林トーク」を開催し、一見知事、柗屋農林水産部長らに対し、構成団体の各会長から「森林資源の循環利用の推進」、「人材及び組織の確保・育成、労働安全の推進」、「林野公共事業の推進及び市町支援体制の強化」に関して提言・要望し、意見交換を行いました。



知事との森林トーク

●自由民主党三重県支部連合会の「令和8年度国・県の政策・予算に関する要望聴き取り会」において要望

令和7年10月1日に開催された自由民主党三重県支部連合会の要望聴き取り会において、令和8年度国・県の政策・予算に関する事項として、「三重の森林づくり基本計画の着実な実施」、「森林整備事業及び治山事業」、「森林環境譲与税を用いる取組に対する支援」、「ツキノワグマ対策」に関することを要望しました。



自由民主党三重県支部連合会へ要望書を提出

●三重県選出国會議員へ令和8年度当初予算等にかかる要望書を提出

近畿7府県から提出され近畿治山林道協会連絡協議会令和7年度総会で決議した治山・林道事業関係の提案要望書、令和8年度当初予算及び令和7年度補正予算について全国治山林道協会会長会議により決議した要望書、「2025治山・林道のつどい」で決議した林野公共事業予算の拡充に関する決議書を令和7年11月18日に福岡専務理事から三重県選出（比例区含む）国会議員（9名）に提出し、要望活動を行いました。



2025 治山・林道のつどい

三重県森林協会の主な活動報告 (要望活動以外) (令和7年4月～令和8年3月)

●森林セミナー開催

令和7年4月18日に、津市において「森林セミナー」を開催しました。

会員市町、林業団体等から49名の参加があり、県の福島次長及び森林・林業分野の各課長から令和7年度の森林・林業施策や予算等について説明していただきました。その後、「森林環境譲与税及び森林経営管理制度」、「林業人材育成・確保」、「航空レーザ計測・解析」、「災害緩衝林整備事業等」、「盛土規制法」、「ツキノワグマ対策」など主要事業・新規事業等について担当班長から説明していただき、事業に関する質疑応答を行いました。



森林セミナー



三重県幹部との意見交換会

●三重県幹部との意見交換会開催

令和7年7月8日に、津市において「三重県農林水産部幹部職員と森林協会役員との意見交換会」を開催しました。

枡屋部長、福島次長及び各担当課長から「令和7年度森林・林業施策」のほか森林・林業分野にかかる幅広い情報提供をしていただき、その後、当協会役員からは地域の実情や課題を説明し、県と市町等との連携を深めるための意見交換を行いました。

●みえの森づくり講演会開催

令和7年8月22日に、津市において「みえの森づくり講演会2025」を開催しました。

三重県森林協会及び三重県林業技術普及協会会員等63名が参加し、three tree代表の中島 彩氏を講師に迎え、「林業現場の人づくり、仲間づくり」をテーマに、「人を育む」ための3つのポイントなどについて、ご講演いただきました。



みえの森づくり講演会 (講師：中島 彩氏)



県外先進地視察研修会 (徳島県)

●県外先進地視察研修会開催

令和7年11月20日から21日にかけて、徳島県の(公社)徳島森林づくり推進機構、とくしま林業アカデミー(徳島市)、(一社)やましごと工房(美馬市)、徳島木のおもちゃ美術館(板野郡板野町)を訪問する先進地視察研修会を開催しました。

24名が参加し、徳島県で行われている森林経営管理制度の推進及び市町村支援の取組、林業人材育成の取組、地域材を活用した公共施設での森林教育の取組等、徳島県における林業の活性化に向けた取組を視察しました。

みえ森林経営管理支援センター活動報告（令和7年4月～令和8年3月）

みえ森林経営管理支援センターでは、センター長ほか5名のアドバイザーを県農林（水産）事務所森林・林業室に駐在配置し、市町の取り組みを支援しています。

1 森林経営管理制度等の取組及び森林環境譲与税の活用

県内市町における森林経営管理制度等の取組及び森林環境譲与税の活用状況は、以下の表のとおり推移しています。

表1 森林経営管理制度等の取組状況（単位：ha）

区 分	R元～6年度	R7年度※
意向調査	56,189	3,875
境界明確化	7,744	2,316
経営管理権集積計画	1,638	606
市町森林経営管理事業	1,144	502
三者協定等による森林整備	3,050	758

表2 森林環境譲与税の活用状況（単位：百万円）

区 分	R元～6年度	R7年度※	計
森林環境譲与税額	5,500	1,533	7,033
活用額	4,278	1,547	5,825
基金積立金額	1,222	▲14	1,208
活用率	78%	101%	83%

※R7年度の面積・金額は見込

2 課題解決に向けたプロジェクト活動

市町における森林経営管理制度や森林環境譲与税等の個別的な課題について、専門家、県職員、市町職員、支援センターが連携して解決方法を検討しています。

表3 令和7年度プロジェクトの概要

市町名	プロジェクト結果
①玉城町	森林経営管理制度等の計画的な推進のために、玉城町内の森林における取組方針等を検討しました。
②松阪市	効率的な境界明確化の実施のために、航空レーザ測量による地番素図作成について、先事例等を調査し、松阪市の状況に応じた手法を検討しました。
③いなべ市	今後実施予定の地区ごとの資源解析、地番素図の作成、意向調査、境界明確化、森林整備の具体的な進め方を検討しました。
④伊勢市	森林経営管理制度等の計画的な推進のために、伊勢市内の森林における取組方針等を検討しました。
⑤御浜町	森林経営管理制度等の計画的な推進のために、御浜町内の森林における取組方針等を検討しました。
⑥紀宝町	森林経営管理制度等の計画的な推進のために、紀宝町内の森林における取組方針等を検討しました。

3 市町職員研修会の開催

①初任者研修会（令和7年4月18日）

森林経営管理制度や森林環境譲与税を担当することになった市町職員の初任者を対象として、「森林・林業の基礎」をテーマとする研修会を開催しました。

②第2回研修会及び現地視察（令和7年8月6日）

林野庁から森林経営管理法の改正について説明後、度会町の作業道整備や森林整備を実施した現地を視察しました。

③第3回研修会（令和8年2月10日）

（一社）やましごと工房の工藤理事長から、「健全な森林経営管理は健全な林地台帳に宿る！」と題して、徳島県美馬市等での取組事例を踏まえてご講演いただきました。



（一社）やましごと工房 工藤氏による講演

令和6年度 森林環境譲与税使途区分別・市町別の活用額一覧

(単位：千円、%)

管内	市町名	森林環境 譲与税額	使途区分				基金積立額
			森林整備	人材育成	木材利用・ 普及啓発	活用額計	
四日市	四日市市	40,222	0	0	0	0	40,222
	桑名市	21,734	28,666	912	6,500	36,078	▲ 14,344
	鈴鹿市	30,250	15,456	3,850	22,353	41,659	▲ 11,409
	亀山市	50,485	44,797	3,990	0	48,787	1,698
	いなべ市	24,614	14,174	0	5,910	20,084	4,530
	木曾岬町	675	0	0	0	0	675
	東員町	3,640	0	0	0	0	3,640
	菰野町	14,562	19,404	0	0	19,404	▲ 4,842
	朝日町	1,305	0	0	0	0	1,305
	川越町	1,695	0	0	0	0	1,695
津	津市	187,781	160,208	5,605	900	166,713	21,068
松阪	松阪市	178,114	117,492	1,855	33,098	152,445	25,669
	多気町	13,383	17,378	983	1,208	19,569	▲ 6,186
	明和町	3,589	0	0	0	0	3,589
	大台町	117,293	145,938	300	0	146,238	▲ 28,945
伊勢	伊勢市	44,275	32,318	0	19,210	51,528	▲ 7,253
	鳥羽市	9,664	5,847	3,242	0	9,089	575
	志摩市	13,478	9,329	757	1,958	12,044	1,434
	玉城町	6,695	2,626	0	0	2,626	4,069
	南伊勢町	45,066	10,555	0	0	10,555	34,511
	度会町	45,307	23,706	0	0	23,706	21,601
	大紀町	79,027	57,093	3,451	0	60,544	18,483
伊賀	伊賀市	97,912	74,336	1,310	7,512	83,158	14,754
	名張市	28,169	20,292	2,003	0	22,295	5,874
尾鷲	尾鷲市	50,660	14,644	0	4,089	18,733	31,927
	紀北町	83,496	69,620	4,166	3,967	77,753	5,743
熊野	熊野市	158,071	95,273	4,054	19,936	119,263	38,808
	御浜町	18,098	16,528	3,420	0	19,948	▲ 1,850
	紀宝町	30,293	28,052	700	680	29,432	861
計		1,399,553	1,023,732	40,598	127,321	1,191,651	207,902
割合		100%	73%	3%	9%	85%	15%
三重県		155,504	41,705	47,220	13,397	102,322	53,182
割合		100%	27%	30%	9%	66%	34%

受賞者の紹介

(敬称は省略して掲載させていただいています。)

●日本林道協会創立75周年記念林道功労者表彰

令和7年度に日本林道協会が創立75周年を迎え、林道事業の推進普及等に功績のあった「林道功労者」を表彰するにあたり、当協会から推薦した、三重県森林協会副会長の尾上 壽一氏（紀北町長）が、林道の整備をはじめ、林野公共事業の促進に対する功績が認められ、林野庁長官感謝状を授与されました。表彰式は、令和7年11月19日に東京都で開催されました。

●治山林道工事コンクール

治山・林道工事の施工技術の向上等を図るため、三重県森林協会では、毎年日本治山治水協会が実施するコンクールに合わせ、治山林道工事コンクールを実施しています。

令和7年度は、治山工事コンクールにおいて西・三栄特定建設工事共同企業体（株式会社西組（大台町）、株式会社三栄建設（大台町））、林道工事コンクールにおいて下建設株式会社（伊勢市）を日本治山治水協会及び日本林道協会に推薦し、それぞれ日本治山治水協会会長賞、日本林道協会会長賞を受賞しました。

また、株式会社榎本組（尾鷲市）を三重県森林協会会長賞として表彰することとなりました。

◇民有林治山工事コンクール

日本治山治水協会会長賞

西・三栄特定建設工事共同企業体

代表者：株式会社西組 代表取締役 西 大輔

工事名：令和5年度復旧治山事業（国債）

第3号工事（東又谷）

施工場所：多気郡大台町桧原字東又谷地内

◇民有林林道工事コンクール

日本林道協会会長賞

下建設株式会社 代表取締役 下 寛明

工事名：令和5年度県営林道木屋村山線

大宮側舗装工事

施工場所：度会郡大紀町永会地内

◇治山林道工事コンクール

三重県森林協会会長賞

株式会社榎本組 代表取締役 榎本 和也

工事名：令和5年度自然災害防止事業（県単）

第尾-9号工事（クチスボ）

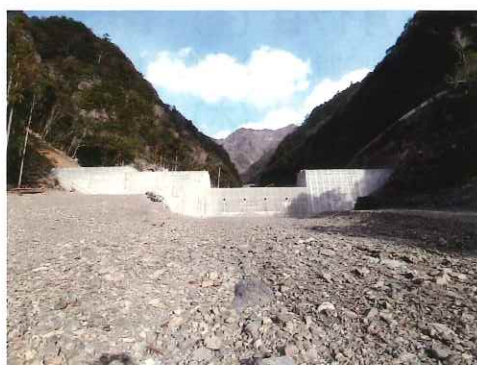
施工場所：尾鷲市大字南浦字クチスボ地内

●令和7年度功績者表彰

三重県林業・木材産業等の振興及び技術の改善・向上に功績顕著な方々を三重県森林協会が毎年表彰しています。令和7年度の総会では以下の方が表彰されました。



林野庁長官感謝状：尾上 壽一氏



日本治山治水協会会長賞：西・三栄特定建設
工事共同企業体



日本林道協会会長賞：下建設株式会社



三重県森林協会会長賞：株式会社榎本組

三重県森林協会会長賞

- ①内田 早苗 三重県四日市農林事務所
伊藤 朱音 株式会社コシイプレザービング
第64回治山研究発表会において発表した「木製杭を用いた法面崩壊抑止の検討」の内容が優秀でした。
- ②山崎 昌彦 中勢森林組合
第58回近畿・中国・四国治山林道研究発表会において発表した「“スマート林業の実践による未整備森林の収益化”モデル事業」の内容が優秀でした。
- ③宇佐美 悠 三重県伊勢農林水産事務所
第58回近畿・中国・四国治山林道研究発表会において発表した「横山生活環境保全林の再整備について」の内容が優秀でした。

当面の森林協会活動予定

- 4月17日(金) 森林セミナーの開催
開催時間/13:00～15:30 開催場所/三重県教育文化会館 大会議室
- 5月21日(木) 森林協会 令和7年度第2回理事会の開催
開催時間/15:30～16:30 開催場所/三重県勤労者福祉会館 第2会議室
- 7月1日(水) 森林協会 令和8年度第1回理事会の開催
開催時間/15:00～16:00 開催場所/プラザ洞津
- 7月29日(水) 森林協会 令和8年度定時総会の開催
開催時間/10:00～11:30 開催場所/プラザ洞津
- 8月21日(金) みえの森林づくり講演会2026の開催
開催時間/14:45～16:15 開催場所/三重県教育文化会館 大会議室
- 11月16日(月)～17日(火) 県外先進地視察研修会の開催
視察場所/愛知県豊田市(予定)

お知らせ

●令和8年度「みえ森林経営管理支援センター」体制のご案内

三重県森林協会では、三重県から市町森林経営管理支援業務を受託し、「みえ森林経営管理支援センター」を設置して、市町の森林経営管理制度の推進や森林環境譲与税を活用する取組に対する支援を行っています。各市町の実情に合わせた助言等、支援活動を行いますので、お気軽にご相談ください。

【令和8年度 アドバイザーの配置】

氏名	担当区域	氏名	担当区域
朝倉 嗣雄	センター長 全域・伊賀地区	谷口 雄一	四日市地区
深田 透	津地区	小林 俊也	松阪地区
山口 和昭	伊勢地区	谷 昌樹	尾鷲・熊野地区

会報 かけはし第58号

令和8年4月発行

一般社団法人三重県森林協会

編集責任者 福岡 秀哉

印刷所 伊藤印刷株式会社

〒514-0003 三重県津市桜橋1丁目104番地

TEL 059-228-0924 FAX 059-228-3220

電子メール mifa@ztv.ne.jp

ホームページ <https://www.za.ztv.ne.jp/wdsnd73h/index.html>